



文部科学省  
「図書館・学校図書館と地域の連携協働による  
読書のまちづくり推進事業」

2026年1月23日(金)

「書店と図書館がつなぐ未来の読者」in 長野  
まちの本やさんと図書館が一緒にできること

# 「長野県内の図書館の今」



県立長野図書館 森 いづみ  
Researchmapで公開します

主催：本の未来と読者を考える書店・図書館等による連携協議会

共催：長野県書店商業組合、長野県図書館協会

※この研修会は、長野県図書館協会のステップアップ研修（第2回）に位置付けられています

# 「図書館」とは？ 長野県図書館協会とは？

## ● 「図書館」の種類（館種）

図書館の種類	概要	根拠法
<b>公共図書館</b>		
公立図書館	地方自治体(都道府県・市区町村)等が条例により設置(設置義務なし)	図書館法(昭和25年) 日本国憲法>教育基本法>社会教育法
私立図書館	民間(財団・社団法人等)が設置	(社会教育法に基づいて <b>公民館に図書室が設置</b> されている)
学校図書館	小・中・高・特別支援学校に設置(設置義務)	学校図書館法(昭和28年)
大学図書館	大学に設置(設置義務)	大学設置基準(昭和31年) ※学校教育法に基づく府省令
国立国会図書館	国会(立法府)に属する唯一の国立図書館	国立国会図書館法(昭和23年)
専門図書館	官庁・議会等の公的機関、研究所や美術館・博物館等の調査研究機関、企業、団体等が設置するもの、特定分野の資料(公文書・新聞・雑誌・書籍など)を収集管理する図書館等が含まれる。設置根拠の法律等はない	

## ● 長野県図書館協会

昭和25(1950)年12月設立

- 県内の公共図書館(公民館図書室を含む)、学校図書館、大学図書館及びその他の読書施設並びにこれらに関心のある県民との連絡、提携のもとに図書館事業の進歩発展を図り長野県の文化の向上に寄与することを目的とする
- 次の部会を置く
  - 公共図書館部会
  - 小・中学校図書館部会
  - 大学専門図書館部会
- 次の会員を置く
  - 個人会員、施設会員、賛助会員  
(長野県書店商業組合様ほか)

※ 長野県図書館協会は、全ての館種が参画する全国的にもまれな例。高校は「長野県高等学校図書館協議会」として活動

# 山間部が多く広い県域をもつ長野県（信州）の特徴

## ● 各地域が独自の文化を育んできた

- ✓ 市町村の数:77(全国第2位)
  - 19市、23町、35村(村数全国第1位)
- ✓ 議論好きで、知識欲が旺盛、独立心が強い県民性
  - 行政的な文脈では「長野県」
  - 歴史や文化にかかわる文脈では旧国名の「信州」がしっくりくる

## ● 地域的な条件による情報環境格差

- ✓ 公共図書館の設置のない自治体:約26%
- ✓ 書店のない自治体:約54%
- ✓ 公共図書館も書店もない自治体:約23%

(2025.8現在)

市町村数	書店がない	割合(%)	条例設置図書館がない	割合(%)	書店・図書館がない	割合(%)
市 19	0	0.0	0	0.0	0	0.0
町 23	14	60.9	6	26.1	5	21.7
村 35	28	80.0	14	40.0	13	37.1
計 77	42	54.5	20	26.0	18	23.4
	書店数	150	図書館数	118		

全県にサービスを届ける手段として「協働」や「デジタルの活用」は必然

# 協働で「電子書籍サービス」に取り組んだ背景

## 令和元年東日本台風による千曲市立更埴図書館の被災状況

写真提供/千曲市立更埴図書館 / 協働/県立長野図書館

**2019年10月13日**  
更埴文化会館(図書館が入る建物)が水没。期間未定で休館。床上7.5cm浸水。泥が施設内に流れ込む。児童書を中心に数百冊が水濡れ。

**2020年1月15日**  
仮復旧の目途がたち開館。(冷暖房・館内トイレ・水道・エレベータはしばらく使用不可)

移動図書館車の浸水状況  
更埴としょかん

本の汚損状況  
浸水した書架から本を取り出している様子

書架を乾燥

館内への浸水の様子

図書館正面玄関の浸水状況

## 令和元年東日本台風による長野県内図書館の被災状況

千曲市立更埴図書館  
床上7.5cm浸水。冷暖房・トイレ等に被害。約3か月休館。図書数百冊が水濡れにより廃棄、カビ発生。

市立飯山図書館  
避難所となる可能性があるため10/13～14臨時休館。

坂城町立図書館  
窓から雨が浸水。廃棄予定資料の段ボールが水濡れ。

上田市立真田図書館  
断水・停電のため10/13～10/16休館。

上田市立上田図書館 創造館分室  
避難所となり休館。10/15～通常開館。

佐久市立白田図書館  
浸水により停電。電話・業務システム等が使用不能に。

当時の状況の詳細は、県立長野図書館ホームページからご覧ください

図書館からのお知らせ-台風19号による県内図書館の被害等状況 [2019/10/13]

図書館からのお知らせ-台風19号浸水被害による千曲市立更埴図書館の水濡れ資料(カビ発生)の対応について [2019/11/22]

県立長野図書館  
Nagano Prefectural Library

- 令和元年東日本台風による図書館の被災(2019.10)
- コロナ禍による緊急事態宣言で、県内約7割の図書館が休館(2020.4-5)
- 令和2年度長野県図書館大会・千曲市立更埴図書館坂田館長(当時)の事例報告(2020.10)  
「電子書籍があればこんなに長くサービスを止めずにすんだのに…」  
→ 協働で取り組む機運

災害アーカイブ展 入場無料

令和元年東日本台風から6年

期間：2025.9.25(木)～10.12(日)

会場：県立長野図書館 3F 資料・学芸創造ラボ

〒201-8501 長野県長野市上野原1-1-1 1F(10月12日(日)は2F)

お問い合わせ：026-222-2222

展示会期：  
2025年9月25日(木)  
～10月12日(日)

# 協働で「電子書籍サービス」に取り組んだ背景

## 解決したい課題

- (1) 情報の形の変化
- (2) 地域的な条件等による情報格差
- (3) コロナ禍、災害等の影響

学校教育や  
社会の情報化  
推進に寄与

学びの  
保障

インクルーシブ  
教育

感染症や  
災害に強い  
図書館

非  
接触・  
移動  
削減

読書や学びの  
バリアフリー

## 目指したい姿

実現策として  
「電子書籍」が有効!  
しかし現実には難しい

全県アンケートで  
予算確保と運用の  
ハードルが高い  
ことが明らかに

# 市町村と県の協働で「だれ一人取り残さない長野県へ」

R3年度

2021年8月長野県先端技術活用推進協議会に検討WGを設置(事務局:県DX推進課)

市町村と県とが協働して電子図書館のサービスを構築

情報へのアクセスを保障

「災害」「感染状況」等になるべく  
影響されず、図書館  
サービスを提供し続ける環境をつくる

×

リーチを拡げる

「地理的条件」「生活スタイル」  
「特別な配慮」などで  
利用しづらかった住民にサービスを届ける

これまでできなかったことを

これまで届かなかった人へ

情報基盤・ノウハウの共有 + 全体の事務コストの軽減

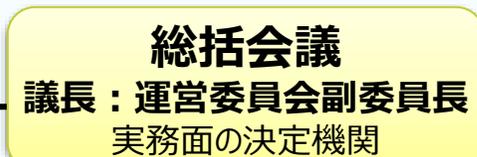
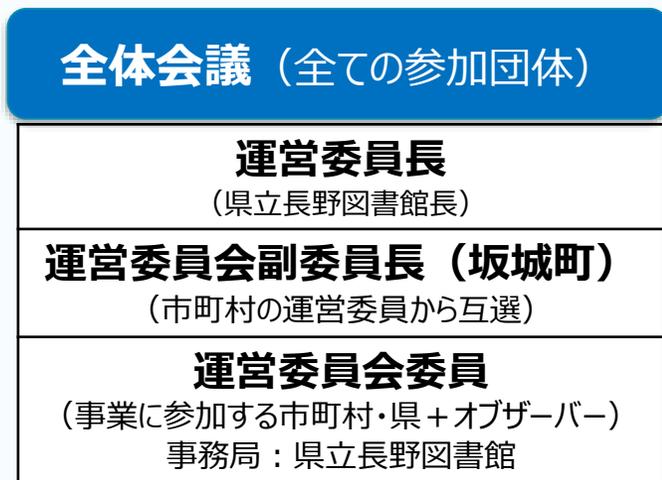
# 前例のない事業にデジタルツールを活用して人的ネットワークで挑む

R3年度

2021年8月長野県先端技術活用推進協議会に検討WGを設置して検討（事務局：県DX推進課）

R4年度

2022年4月～市町村と県による協働電子図書館運営委員会  
（事務局：県立長野図書館）



**読書バリアフリー**

チームリーダー：  
長野市→須坂市

**学校連携**

チームリーダー：  
千曲市→塩尻市

**オリジナルコンテンツ**

チームリーダー：  
飯田市→大桑村→佐久穂町

**目標設定**

チームリーダー：坂城町

**利用登録部会**

部会長：  
佐久市→安曇野市

**選書部会**

部会長：松川村

**利用者支援・  
広報部会**

部会長：大桑村

**システム部会**

部会長：  
塩尻市→坂城町→松本市

市町村立図書館・公民館  
図書室、教育委員会、  
DX担当など、多様な  
ステークホルダーが連携

部会に加え、  
課題解決チームを設置

広い長野県内全域から  
オンラインで集結！

市長会、町村会、教育長会、  
自治振興組合、  
市町村振興協会へもご説明  
（宝くじ助成金）

R5年度～

例年4月に体制を組みなおしながら  
継続的に取組  
令和4年度～8年度の5カ年事業  
令和7年度現在、第2期事業継続に  
向けて検討中

# 2つの電子書籍サービスの開始（2022年8月）

## 市町村と県による 協働電子図書館 デジとじょ信州

長野県民は  
だれでも  
いつでも  
どこからでも!

パソコン・スマホ・タブレットで読む

電子書籍(コンテンツ)……77市町村で分担購入

アクセシブル  
ライブラリー

視覚障害者向け電子図書館

電子図書館(プラットフォーム  
本棚のような役目)……県立図書館で維持

令和4  
(2022)年  
8月5日  
スタート

書店さんへの  
影響に懸念

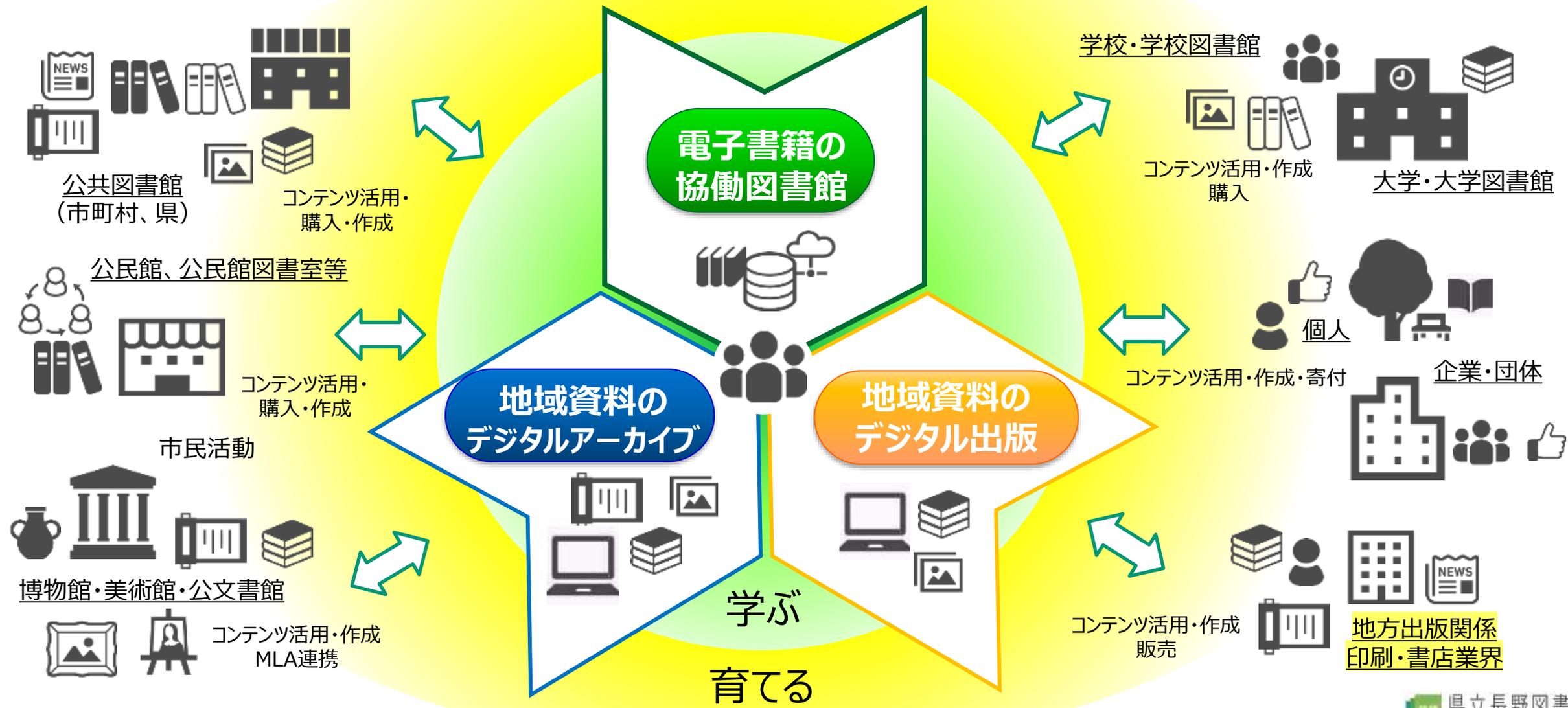


※ 全国知事会「先進政策バンク」の「令和5年度 先進政策大賞」および「デジタル・ソリューション・アワード大賞」に選定

※ 第11回(令和5年度)プラチナ大賞において「優秀賞 地域パートナーシップ賞」を受賞

# 構想初期に描いた理想のAll信州電子図書館（ビジョン共有のために）

学びや読書に関わるすべてのステークホルダーとともに地方創生・共存共栄をめざしたい



# 信州ブックサーチの活用による横断的な検索・発見の仕組み

長野県内の図書館の蔵書は1千万冊！紙か電子かメディアの違いに関わらず一緒に探したい

長野図書館のウェブサイトへ

## Shinshu Book Search

長野県内図書館横断検索サービス「信州ブックサーチ」

世界の郷土料理事典

デジとしよ信州

テーマ コレクション キッズ&ティーンズ

世界の郷土料理事典

世界の郷土料理事典：全世界各国・300地域 料理の作り方を通して知る歴史、文化、宗教の食規定

青木ゆり子作

電子書籍

★★★★★

1作品のうち1作品が利用可能

借りる サンプルを読む

4件見つかりました。

地域で絞り込み	タイトル	著者名	出版者	出版年	ISBN	所蔵館
	世界の郷土料理事典：全世界各国・300地域 料理の作り方を通して知る歴史、文化、宗教の食規定	青木ゆり子	誠文堂新光社	2020	9784416620175	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap; gap: 5px;"> <div>県立長野</div> <div>松本市</div> <div>塩尻市</div> <div>安曇野市</div> <div>大町市</div> <div>池田町</div> <div>白馬村</div> <div>松川村</div> <div>木祖村</div> <div>朝日村</div> <div>長野市</div> <div>須坂市</div> <div>千曲市</div> <div>諏訪地域</div> <div>駒ヶ根市</div> <div>箕輪町</div> <div>南信州地域</div> <div>佐久市</div> <div>御代田町</div> <div>上田地域</div> <div style="border: 2px solid red; padding: 2px;">デジとしよ信州</div> </div>
	22館所蔵		<div style="display: flex; flex-wrap: wrap; gap: 5px;"> <div style="border: 2px solid red; padding: 2px;">県立電子書籍</div> <div>「県立電子書籍」のつかいかた</div> </div>			
	世界の郷土料理事典 全世界各国・300地域料理の作	青木 ゆり子/著	誠文堂新光社	2020.06		1
	世界の郷土料理事典：全世界各国・300地域料理の	青木 ゆり子				1

県立長野図書館

世界の郷土料理事典

全世界各国・300地域 料理の作り方を通して知る歴史、文化、宗教の食規定

青木 ゆり子 著

誠文堂新光社 出版

ISBN: 9784416620175

電子書籍

1人

詳細検索

Powered by カーリル

近隣の書店さんの情報にリンクできないか？

# 「書店在庫情報プロジェクト」との連携で書店情報へのリンク実現!

## ● カーリルさんからの連絡(2024年6月)

✓「書店在庫情報プロジェクトの実証実験を開始しました。一緒にやりませんか」

⇒システム対応:カーリルとの連携協定、合意形成:教育委員会事務局、長野県書店商業組合

2024年4月の  
「書店・図書館等  
関係者における対  
話のまとめ」は  
大きかった!

2024年  
7月31日  
「書店在庫情報  
プロジェクト」との  
連携が実現!



近隣書店の在庫

「書店在庫情報プロジェクト」発起人

- 一般財団法人出版文化産業振興財団
- 株式会社カーリル
- 一般社団法人版元ドットコム

本と読者との接点を最大化していくために、  
図書館と地域書店が連携する一つの具体策

# 長野県書店商業組合さんとの連携をプレスリリースに明記



長野県(教育委員会) プレスリリース 令和6年(2024年)7月30日

「あの本、どこで読める?どこで買える?」がすぐわかる!

## 「信州ブックサーチ (長野県内図書館横断検索サービス)」と「書店在庫情報プロジェクト」が連携します

県立長野図書館が運営する「信州ブックサーチ」と、「書店在庫情報プロジェクト」がシステム連携し、欲しい本が、どの図書館にあるか、どの書店に在庫があるかを一元的に調べられるサービスの試行が始まります。

これは、本と読者との接点を最大化していくために、図書館と地域書店が連携を進めるひとつの具体策として、県立長野図書館と株式会社カーリルとの「連携・協力に関する協定 (H30.10)」に基づき、実施するものです。

### 1 連携の目的

「本」へのアクセス経路を拡充し、読書のチャンスを増やすことを通じて、県内の読書文化の振興や、本を通じた地方創生につなげていきます。

#### 【信州ブックサーチ】

読みたい本が県内のどの図書館に所蔵されているか、横断的に調べられるウェブ上のサービス。「デジとしょ信州」や「県立長野図書館電子書籍サービス」も検索対象としており、紙やデジタルといった媒体を問わず、本を探ることができる。

【運営】：県立長野図書館



#### 【書店在庫情報プロジェクト】

「書店に足を運ぶ読者を増やす」ことを目指し、開発中の「書店在庫情報」システムを一般公開した実証実験。(R6.6~)

【主体】：

- ・ (一財) 出版文化産業振興財団 (JPIC)
- ・ 株式会社カーリル
- ・ (一社) 版元ドットコム

長野県書店商業組合理事長さまに確認のうえ、説明文を記載

「実証実験がスタートしたばかりのため、現時点では在庫情報を見られる県内書店の数は少ないですが、長野県書店商業組合など関係団体との連携を進め、参画する書店を増やしていけるよう取り組んでいきます。」

一緒に  
取組みたい  
という熱い  
メッセージ

ココから  
先がなかなか  
進まなかった  
のですが...

# 「地域の読書環境をもっと豊かに！— 読者 × 書店 × 図書館 × ∞」

- 主催：
  - 長野県書店商業組合、長野県図書館協会、
  - 書店在庫情報プロジェクト、県立長野図書館
- 日時：2025(令和7)年6月14日(土)  
13:00~16:00
- 会場：
  - 県立長野図書館 3階 信州・学び創造ラボ  
(募集:40名・要申込・無料)
  - ZOOMによるオンライン接続  
(募集:80名・要申込・無料)



[https://www.knowledge.pref.nagano.lg.jp/now/mezasukoto/torikumi/toshokanforum\\_250614.html](https://www.knowledge.pref.nagano.lg.jp/now/mezasukoto/torikumi/toshokanforum_250614.html)

# 「地域の読書環境をもっと豊かに！」フォーラムのプログラム

当日の発表資料、アーカイブ動画はすべて公開されています

## プログラム内容

開催挨拶・趣旨説明

「書店・図書館等による連携協議会報告と書店在庫情報プロジェクト」

松木修一氏(JPIC一般財団法人出版文化産業振興財団専務理事)／吉本龍司氏(株式会社カーリル代表取締役)

「地元書店からの直接購入が、地域還元につながる ～市立岡谷図書館と地元書店の取り組み」

笠原新太郎氏(株式会社笠原書店代表取締役社長)／小坂英之氏(市立岡谷図書館長)

「つながることで地域の読書環境を向上させたい ー地元書店と図書館の連携による活動」

奈良井功氏(株式会社興文堂代表取締役社長)／塩尻市書店組合)／矢澤昭義氏(塩尻市立図書館長)

休憩

質疑応答・パネルディスカッション パネリスト:発表者全員 司会:森いづみ(県立長野図書館長)

[https://www.knowledge.pref.nagano.lg.jp/now/mezasukoto/torikumi/toshokanforum\\_250614.html](https://www.knowledge.pref.nagano.lg.jp/now/mezasukoto/torikumi/toshokanforum_250614.html)

# フォーラム参加者アンケート(抜粋)

## ● 「書店在庫情報プロジェクト」について

- ✓ 図書館と書店が互いに助け合い、カバーしあえる関係とシステムを作ることは重要。特に書店側のシステムについてよく知りたい。そういった研修があれば是非参加したいと思う(20代/図書館)
- ✓ 書店活性化プランについて、ここまで辿り着くのにとても苦勞されたと思う。これからという段階だが、図書館側も自治体、首長などにアピールしていくことが大切だと強く思った。研修も、ぜひ参加してみたい(30代/図書館)
- ✓ 書店在庫プロジェクトはどんどん認知度が広がっていくとよい。使われるほど充実するサービスだと思う(40代/サービス事業者/システム事業者)
- ✓ 人気図書への予約過多については(複本購入の是非も含め)図書館の悩みの種。新たな解決の糸口が提供されることにワクワク。今後の動向に注目させていただきます!(40代/図書館)
- ✓ この様な企画が進んでいることを初めて知った。「読書文化」「図書館文化」がやせてきていることに寂しい思いや、危惧していたがとても心強く思った(60代/図書館)

# フォーラム参加者アンケート(抜粋)

## ● 岡谷市での取組について

- ✓ 理想的かつ魅力的な取り組み。互いの良さを活かし合って地域と地域の読書活動を推進していく姿勢に感銘を受けた(20代/図書館)
- ✓ 来店型の選書も地元書店だからこそできる取り組み。地域に必要な本をしっかりと選んでいくために、地元書店は心強いパートナーだと思う(30代/図書館)
- ✓ 実際の棚の状況からの除籍提案などを出来たらよさそう(40代/サービス事業者/システム事業者)
- ✓ 読書文化を守るだけでなく、雇用の増加等地域全体の活性化を含めたバランスの良い取り組みモデル(40代/図書館)
- ✓ 各市町村図書館や福祉施設との関係を丁寧に構築されていったことが伝わってきた。2018年の提案からの準備期間を経て、5年間取り組まれてきた実績に学ばせていただいた。図書館の立場からお話があり、相互の関係性が感じられた。「文化の配達夫」という理念の共有が素敵(50代/図書館)
- ✓ 笠原書店さんの先進的な考えや行動力すばらしかった(50代/図書館)
- ✓ 地元で実現できないものかと働きかけてみます(60代/一般)

# フォーラム参加者アンケート(抜粋)

## ● 塩尻市での取組について

- ✓ 図書館と書店を行き来できるイベント。読書手帳も、本来はこの形であるはずだとも思った。どの取組も読者のことをしっかり考えられていて参考になった。図書館内でカフェの展開や文具を販売する事例も耳にするが、公共施設内での販売について勉強不足なので調べてみたい(30代/図書館関係)
- ✓ せっかくSNSやLINEなど便利に繋がる道具が充実している時代なので、大小の書店、公共、小中、高校図書館その他本に関わるメディアなど、地域での連携密度が高くなるといいなと思う(40代/サービス事業者/システム事業者)
- ✓ 地元書店が4店も存在していることに、塩尻市の文化レベルの高さをひしひしと感じた。図書館側として本の販売等お金が絡むイベントに及び腰になってしまいがちだったが、考えを改めなければならないと感じました(40代/図書館)
- ✓ 二人の掛け合いが楽しかった。書店と図書館であれができるというのがとても尊いですね(40代/図書館)
- ✓ この関係性を築くまでのプロセスを聴きたい(50代/一般)
- ✓ 夏の旅行は塩尻に決めました、図書館行きます!(60代/一般)

# フォーラム参加者アンケート(抜粋)

## ● パネルディスカッション

- ✓ 業務で普段から信州ブックサーチ、カーリルを利用しているので裏側を知ることができて嬉しかった。少人数だが、図書館に求めている本がなかった時に買ってでも読みたい人はいる。そういう人に伝えていきたい(30代/図書館)
- ✓ 書店在庫情報プロジェクトに参加するためには、書店ではPOSレジを利用しているか、在庫状況などのデータ抽出することができるかなど取り組みの最初の一步のハードルの高さは、書店によってかなり差があるということも知った(30代/図書館)
- ✓ 図書の装備については、会場でも意見があったが、簡略化出来るものはしてもいいのかもしれないな、と思った(40代/図書館)
- ✓ 活字文化議員連盟の方も登壇されたらより興味深い気がした(50代/一般)
- ✓ 今後、書店在庫情報の中身が充実していくためのシステム要件等をより多くの関係者の方々に広めて行けたらよいなと思う。地元の書店さん、図書館、福祉施設の方を含む地元の方々の中で経済を回しつつ、文化を守っていくには、図書館側の意識改革(市民の方の個々の要求に応えることと、地域全体の経済や文化度を守り向上させて行くこととの関わり合いへの理解と、新たな指針)も必要だと感じた(50代/図書館関係)
- ✓ zoom 終了後の会話がフランクで良かった(60代/一般)

# フォーラム参加者アンケート(抜粋)

## ● 全体を通じて

- ✓ 普段の業務の見直しを含めて、できることも、今はできないことでも模索していく必要があると思った。書店の方々のお話を伺いながら、本が出来上がるまで印刷会社や取次会社など手元に届く本の先を見据えてお仕事されていると思った。出来上がった本の利活用が図書館側の仕事でもあるが、書店と図書館で読者のために何ができるのかを考えながら、その本を生み出す作家や研究者など著者(そして出版者)がいてこそ、成り立つ部分でもあるので一緒に取り組むことの必要性を強く感じた。(30代/図書館)
- ✓ 青森県八戸市では、市が運営する書店がある。その書店さんとのディスカッションも見てみたいなと思った。(40代/図書館関係)
- ✓ 県立図書館に勤務しています。自分の勤めている県も長野県と同様に書店設置率は非常に少なく、図書館も書店もない自治体が全体の4割弱。書店と連携しながら地域独自の読書文化を守ること、書店がなくとも学校・公民館と連携を強化すること。県立長野図書館さんの取組みも参考にさせていただきながら取り組んでいきたい。(40代/図書館関係)
- ✓ 本当に学びのある良い機会。有り難うございました。本日が新たなスタートになりますよう、これからも、どうぞよろしく願いいたします。(50代/図書館関係)

# 本日、研修会&特別講演会が実現!

- 書店と図書館がつなぐ未来の読者in長野  
「まちの本やさんと図書館が一緒にできること」  
を開催します
  - 日時:2026年1月23日(金) 13:00~(2部制)
  - 場所:県立長野図書館 信州・学び創造ラボ
  - プログラム:
    - 1部:研修会、2部:特別講演会(長野市出身・八木詠美氏)
  - 主催:本の未来と読者を考える書店・図書館等による連携協議会
  - 共催:長野県図書館協会、長野県書店商業組合共催
- 文部科学省「図書館・学校図書館と地域の連携協働による読書のまちづくり 推進事業」の一環として実施

[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/houdou/2024/1415000\\_00003.htm](https://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/2024/1415000_00003.htm)

2026年  
1月23日 第2部 17:30~

書店と図書館がつなぐ未来の読者

特別講演会

読むこと・書くこと・生きること

八木 詠美 先生  
聞き手: 筑摩書房編集者 山本 充 氏

八木詠美先生略歴  
1988年長野県生まれ。早稲田大学文化構想学部卒業。  
2020年『空想手帳』で第36回太宰治賞を受賞。  
世界25ヶ国語での翻訳が進行中。2022年8月に刊行された英語版  
『Diary of a Void』は、ニューヨーク・タイムズやニューヨーク公共図書館が  
「今年の収穫」として取り上げるなど、高い評価を得る。  
2024年『休館日の彼女たち』で第12回河合準雄物語賞を受賞。

当日、会場で八木詠美先生のご著書をお買い求めいただいた方に、八木詠美先生のサイン会を開催予定です。

主催 ● 本の未来と読者を考える書店・図書館等による連携協議会  
共催 ● 長野県書店商業組合 長野県図書館協会  
場所 ● 県立長野図書館3階 信州・学び創造ラボ

参加無料!  
申込はコチラから

# 関係の皆さまに、深く感謝いたします!

2026年  
1月23日 土  
第1部 13:00~

書店と図書館がつなぐ未来の読者  
研修会@信州・学び創造ラボ

## まちの本やさん と図書館が 一緒にできること

どなたでもご参加いただけます  
読書や本に関心がある方

### 最新動向



嶋田学氏  
(京都橋大学)

### 「やま読」の今とこれからに学ぶ



須藤 令子氏  
(朗月堂書店)



丸山 直也氏  
(山梨県立図書館)

### 県内書店の今



笠原 新太郎氏  
(笠原書店)

### 書店在庫情報システム



鈴木 毅氏  
(版元ドットコム)

### 県内図書館の今



森 いづみ氏  
(県立長野図書館)

## 第1部：研修会

## プログラム

- ◆ 13:00~13:40 最新動向：全国的な書店／図書館をめぐる動きや世界の状況  
「本の未来と読者を考える書店・図書館等による連携協議会」座長／  
京都橋大学教授 嶋田 学 氏
- ◆ 13:40~14:30 長野県内 書店の今、図書館の今  
長野県書店商業組合書店再生委員会委員長／笠原書店社長 笠原 新太郎 氏  
長野県図書館協会理事長／県立長野図書館長 森 いづみ 氏
- \*\* 休 憩 \*\*
- ◆ 14:40~15:40 「やま読」の今とこれから ～先行する連携事例に学ぶ～  
やまなし読書活動促進事業実行委員長／朗月堂書店社長 須藤 令子 氏  
やまなし読書活動促進事業実行委員会書記補佐／山梨県立図書館 丸山 直也 氏
- ◆ 15:40~16:00 ワークショップ  
書店在庫情報システム Customでの長野県版「ベストリーダー」の運用  
一般社団法人 版元ドットコム 鈴木 毅 氏
- ◆ 16:00~16:30 フリーディスカッション

[https://www.knowledge.pref.nagano.lg.jp/now/news/event\\_20260123.html](https://www.knowledge.pref.nagano.lg.jp/now/news/event_20260123.html)

◆ 主催 ◆ 本の未来と読者を考える書店・図書館等による連携協議会  
◆ 共催 ◆ 長野県書店商業組合 長野県図書館協会  
◆ 場所 ◆ 県立長野図書館3階 信州・学び創造ラボ

参加無料!  
申込はコチラから



# 長野県内の書店さんと図書館の連携状況について

## ● 文部科学省委託事業

### 「図書館における連携促進に向けた課題に係るアンケート」

- 回答時点: 令和7年4月1日現在、
- 回答期限: 令和7年10月28日
- 報告書公開予定: 3月末

## ● 長野県内からの回答

(書店さんにかかわる項目抜粋・速報値)

- 調査対象:  
  - 公立図書館がある自治体=57自治体
- 長野県内各自治体の回答率: 61.4%

	回答数	回答対象自治体数	回答率 (%)
市回答	13	19	68.4
町回答	9	17	52.9
村回答	12	21	57.1
県回答	1	1	100.0
	35	57	61.4

# 「図書館における連携促進に向けた課題に係るアンケート」速報値

## A. 図書館と地域の関係機関等との連携について

連携機関等	実施	%
幼稚園、保育所、認定こども園等	23	65.7
小中高等学校等(学校図書館含む)	26	74.3
大学、短期大学、高等専門学校等(図書館含む)	6	17.1
社会教育施設(公民館、博物館等)	21	60.0
その他	4	11.4
社会福祉施設・福祉協議会	20	57.1
高齢者施設	12	34.3
その他	2	5.7
書店	5	14.3
古書店	1	2.9
出版社	2	5.7
作家	6	17.1
その他	1	2.9
商店街	1	2.9
NPO法人等	2	5.7
その他	11	31.4

- 書店
  - ・ 講演会・シンポジウム等: 2
  - ・ 展示会: 3
  - ・ 研修受講: 1
  - ・ 不定期的な連絡会・意見交換の場: 1
- 古書店
  - ・ イベントの共催: 1
- 出版社
  - ・ 資料の相互利用: 1
  - ・ 展示会: 1
- 作家
  - ・ 講演会・シンポジウム等: 6
  - ・ 展示会: 2
  - ・ 読み聞かせ、ブックスタート: 2
  - ・ 社会人向けの生涯学習講座等: 1
  - ・ イベントの共催: 2
  - ・ 研修受講: 1
  - ・ 不定期的な連絡会・意見交換の場: 1

# 「図書館における連携促進に向けた課題に係るアンケート」速報値

## B. 図書の収集方針等について

方針等	館数	%	冊数
図書の収集方針・選定基準等がある	25	71.4	
複本に関するルールを設定している	12	34.3	
複本の購入は予約件数に応じて検討しているか	5	14.3	30, 15, 10, 7, 4
複本の上限購入冊数を設定しているか	8	22.9	4冊:2, 3冊:4, 2冊:2

※令和7年より町の書店応援のため、複本の購入および寄贈のお願いをやめました。

※利用者には、「書店応援です。書店で買ってください」とお声がけしています。

# 「図書館における連携促進に向けた課題に係るアンケート」速報値

## C. 図書の所蔵及び貸出について(最も複本が多いタイトル: 一般書)

### ●郷土(地域)資料:

長野県史 一式(全74冊)、本市史第4巻、鹿の国公式ガイドブック、伊那市神社誌、駒ヶ根市誌近世編、飯山小誌 復刻、しおじり学びの道、佐久市志:美術・建築編、御代田町誌 自然編、青木村史、下諏訪歴史散歩、南箕輪の史跡、死、宮田村周辺に棲む淡水魚、ふるさと松川町、根羽村誌、豊丘村誌上巻、蕎麦、村誌やまがた 山形村村誌編集委員会、朝日村石造文化財、坂井村誌、白馬の民話、山ノ内町誌

### ●その他(?):

あなたが誰かを殺した、彼女が恐怖をつれてくる、そして、バトンは渡された、名探偵コナン  
Volume35、透明な螺旋、やさしく夜想の交差する路

- 永年保存対象(地域資料等)であり、保存と貸出の対応のため。
- 地域資料であり、市内公民館図書室でも所蔵しているため
- 図書館内での閲覧用(禁帯出)と貸出用など、用途を分けて所蔵するため
- 永年保存対象(地域資料等)の図書であり、保存と貸出しの対応のため
- 郷土資料として、図書館本館だけでなく分館にも複数所蔵しているため
- 当村の郷土資料のため
- 図書館開館時に、公民館図書室の本を移動したため
- 分館用に所蔵している。(3分館ある)

# 「図書館における連携促進に向けた課題に係るアンケート」速報値

## C. 図書の所蔵及び貸出について(最も複本が多いタイトル:児童書)

### ●郷土(地域)資料:

あづみ野・大町の民話、ふるさと佐久の民話、薬師堂の焼け仏・御射山様、宮田村周辺に棲む淡水魚、森のくまさん木曾物語、あさひキラキラレタス

### ●その他:

くだもの、かいじゅうたちのいるところ、いそがしいよる、朝日ジュニア学習年鑑  
2024、じめんのうえとじめんのした、いないいないばあ、たまごのあかちゃん、ちびごりらのちびちび、ぐりとぐら、バスがきました、いないいないばあ、ころころころ、きんぎょがにげた、ハリーポッターと賢者の石、はらぺこあおむし、がたんごとんがたんごとん、おかあさんになるってどんなこと

- 貸出数が多い、ブックスタート事業の対象本であるため
- セカンドブック(3歳児検診時に渡す本)の対象図書で、分館でも複数所蔵
- 市内公民館図書室でも所蔵しているため
- 市内小学校での情報学習講座に用いるため。
- おすすめ本として全館で複本所蔵と巡回用に常時貸出中のものあり
- 4か月検診時に実施する絵本配布事業(ファーストブックプレゼント)の選定図書のため
- ブックリストに掲載されている本で、図書館本館だけでなく分館にも複数所蔵しているため。
- セカンドブック対象本のため
- 当村の郷土資料のため
- ブックスタートの見本として
- 分館用に所蔵している。(3分館ある)
- ファーストブックなどで使用するため
- ブックスタートのプレゼント対象絵本のため、見本として

# 「図書館における連携促進に向けた課題に係るアンケート」速報値

## D. 図書の購入・発注について

	ある	%	なし	%
自治体内に、実店舗がある書店はあるか	24	68.6	11	31.4

		図書館数	%	
図書の最も多い契約方式	競争入札(プロポーサル)	0	0.0	
	随意契約	29	82.9	
	その他	6	17.1	
図書の発注先	自治体内に実店舗がある書店(組合を含む)	12	34.3	} 60.0
	自治体内に実店舗がない書店(組合を含む)	9	25.7	
	大手納入業者	14	40.0	
	その他	0	0.0	
発注の形態	定価購入(装備費を含む)	18	51.4	
	定価購入(装備費を含まない)	15	42.9	
	値引き購入(装備費を含む)	2	5.7	
	値引き購入(装備費を含まない)	0	0.0	

# 「図書館における連携促進に向けた課題に係るアンケート」

## D. 図書の購入・発注について

書店から福祉作業所への委託

諏訪モデル(児童書について、市内の書店に発注後、地域福祉団体が1冊50円の単価で装備を行う)

市内業者から購入した場合(定価での支払)、装備は図書館で行っている

自館スタッフに装備のトレーニングをし、スタッフ全員が装備できるようになりました。これにより、地元書店の発注を増やし、装備は自館で行っています

大手納入者の場合は装備付きで購入。装備代は別途支払い

小説などの帯を、表表紙裏にのり付けではり、帯の情報もわかるよう工夫している

			%
主に装備を実施する者	自館職員	10	28.6
	自治体内の企業(書店を含む)	1	2.9
	自治体外の企業(書店を含む)	10	28.6
	福祉協議会	3	8.6
	その他・未回答	11	31.4

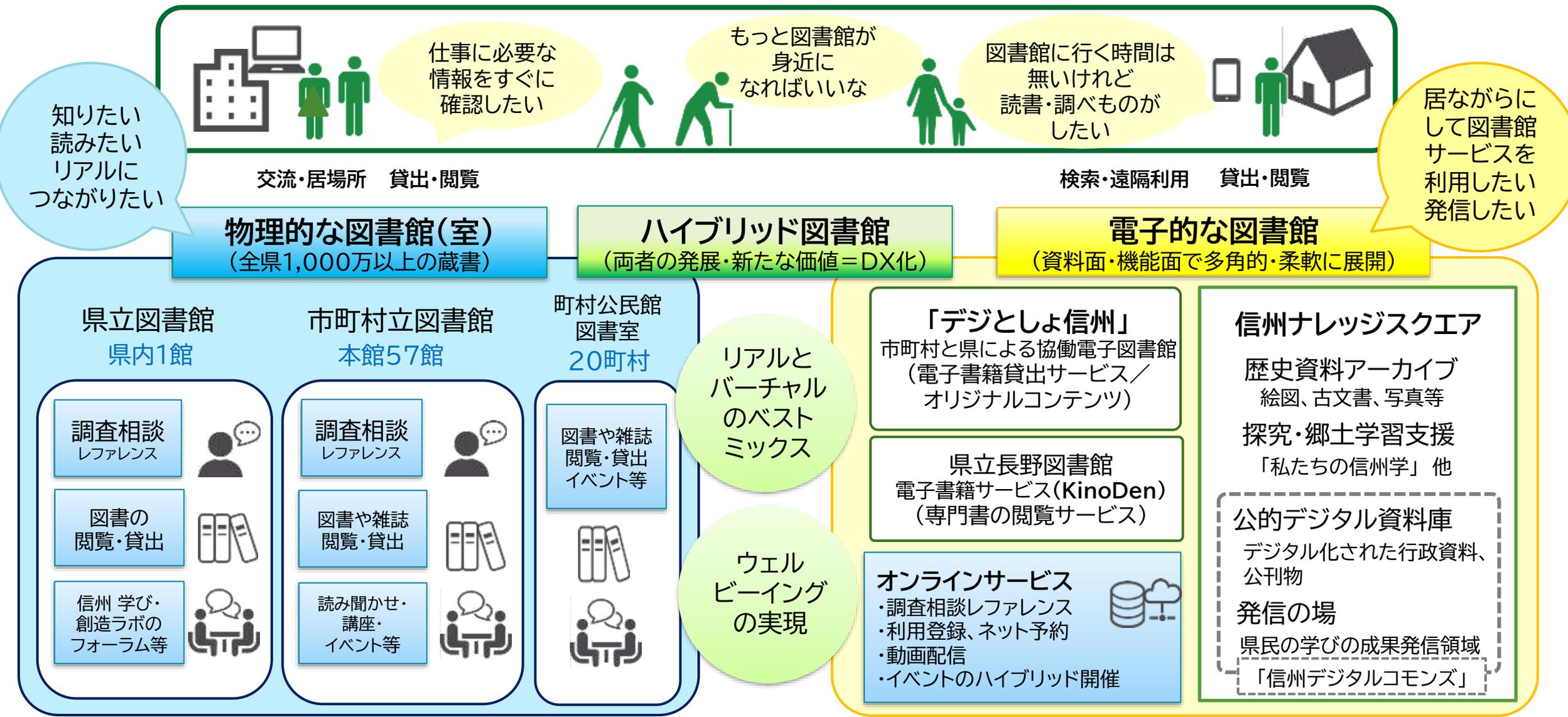
# 「図書館における連携促進に向けた課題に係るアンケート」

## E. 図書館の評価について(上位3つ選択)

	自己評価	%	外部評価	%
来館者数	24	68.6	25	71.4
登録者数	16	45.7	13	37.1
貸出数	27	77.1	28	80.0
レファレンス件数	12	34.3	8	22.9
イベント実施回数	15	42.9	15	42.9
メディア掲載件数	3	8.6	2	5.7
受賞歴(図書館・図書館職員・ボランティア・その他)	0	0.0	0	0.0
その他	5	14.3	2	5.7

- 住民一人あたりに換算した場合の貸出数
- 児童書の割合が多く、赤ちゃんや児童向けのイベントを多く開催している
- 総合5か年計画の図書館にかかるKPIとして、紙の書籍と電子書籍の合算による県民一人当たりの貸出数が目標値
- 図書館サービス計画では、評価指標を22項目設定。そのうち、**公民館や地域と連携した企画事業の実施回数・他機関と連携した展示・テーマブックス・講座の開催回数・新たに連携した機関や団体数などを指標に設定し、市民や様々な団体との積極的な連携により、新たな価値を生み出し進化する図書館を目指しています。**

# 信州に関わるすべての人々と「共に知り・共に創る」新しい図書館の姿



県民、学校や書店等、さまざまなステークホルダーとの連携・協働で実現していきたい